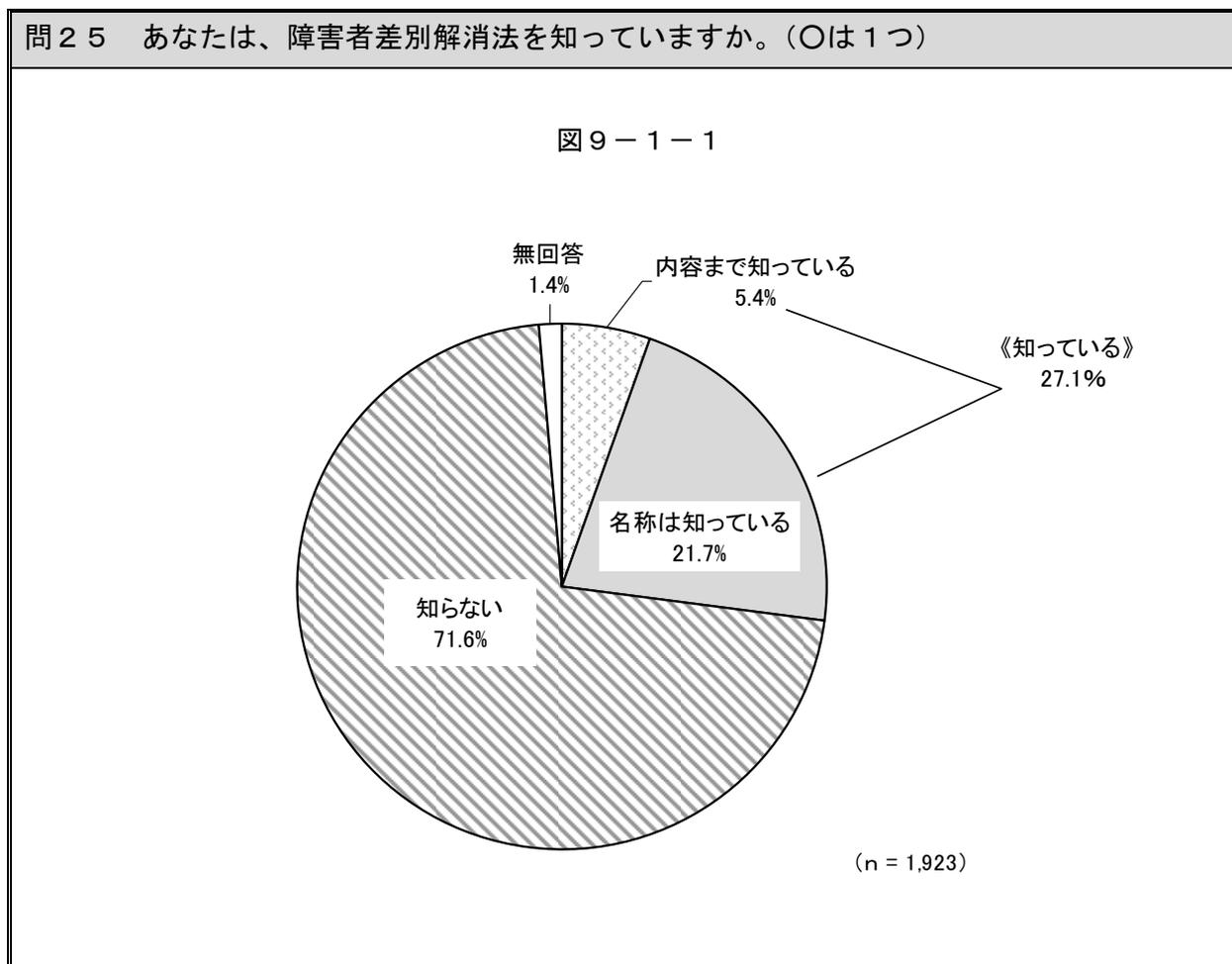


9. 障害者を支える取り組み

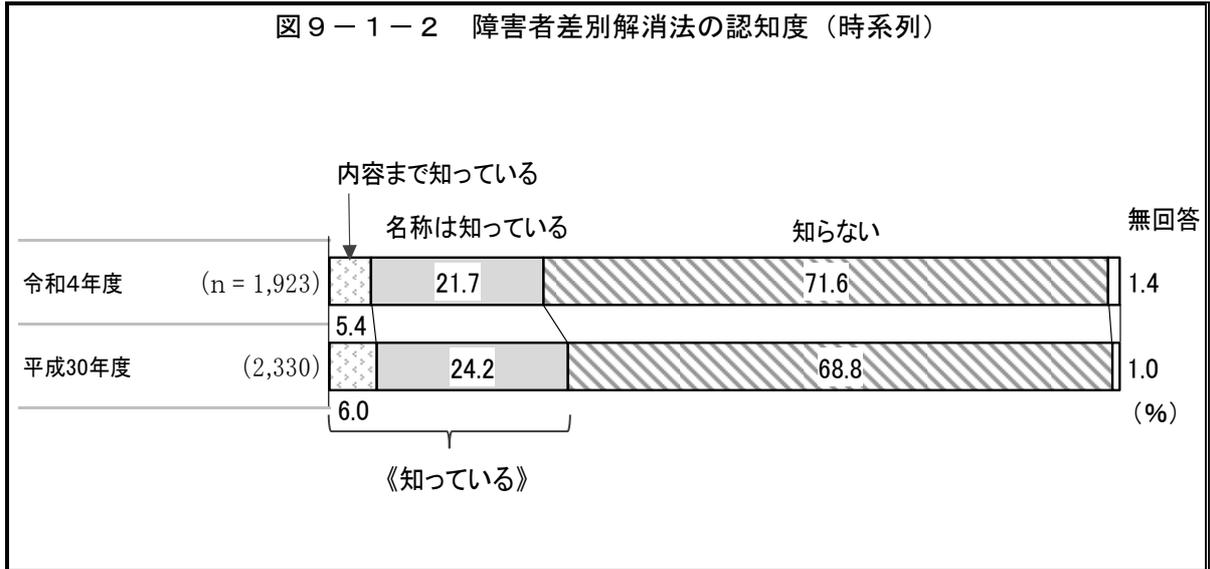
(1) 障害者差別解消法の認知度

◎ 《知っている》は3割近く



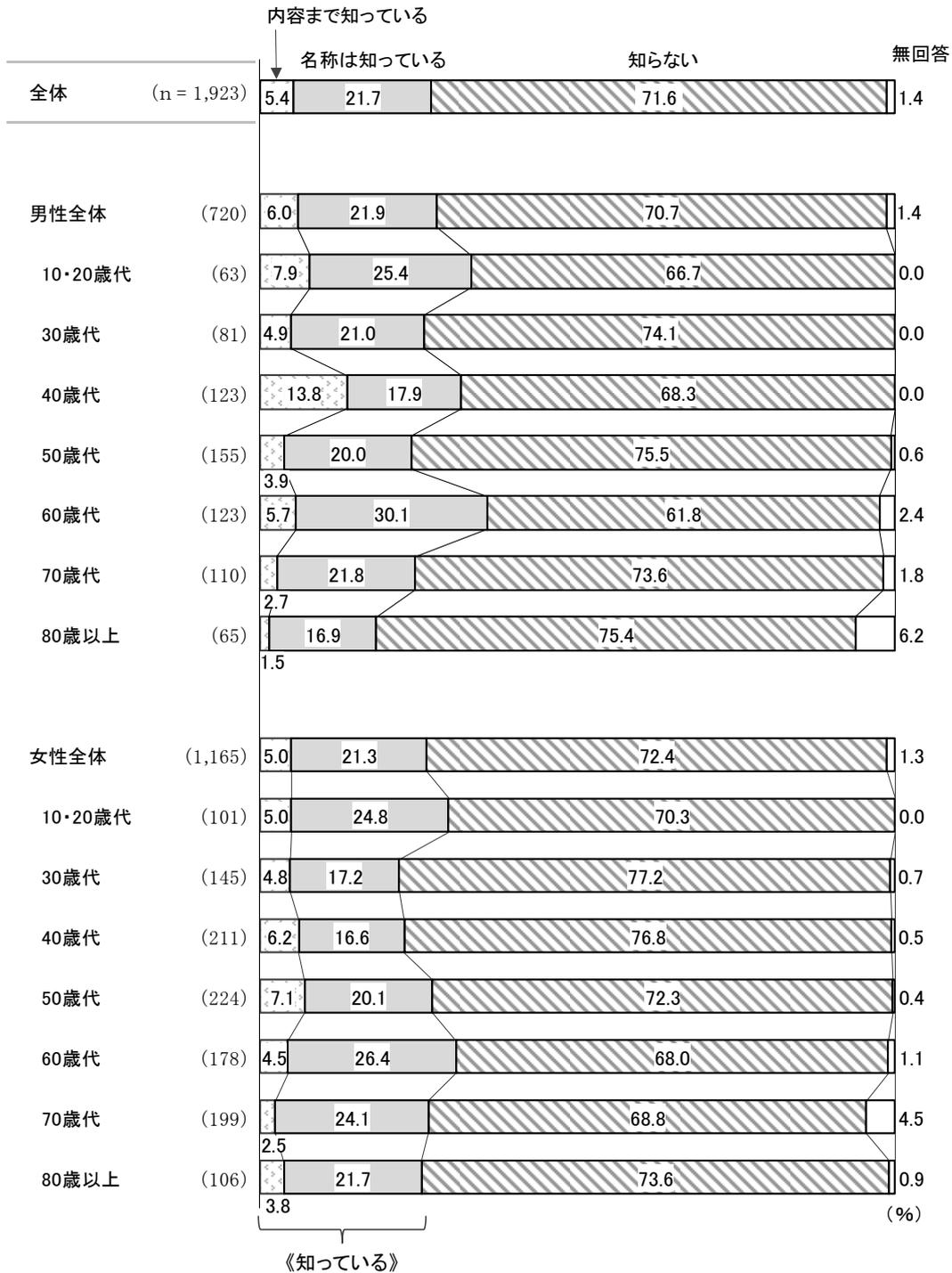
障害者差別解消法の認知度を聞いたところ、「内容まで知っている」(5.4%)と「名称は知っている」(21.7%)を合わせた《知っている》(27.1%)が3割近く、「知らない」(71.6%)が7割を超えている。(図9-1-1)

図 9 - 1 - 2 障害者差別解消法の認知度（時系列）



平成 30 年度からの時系列の変化をみると、《知っている》は平成 30 年度（30.2%）から令和 4 年度（27.1%）でわずかに減少している。（図 9 - 1 - 2）

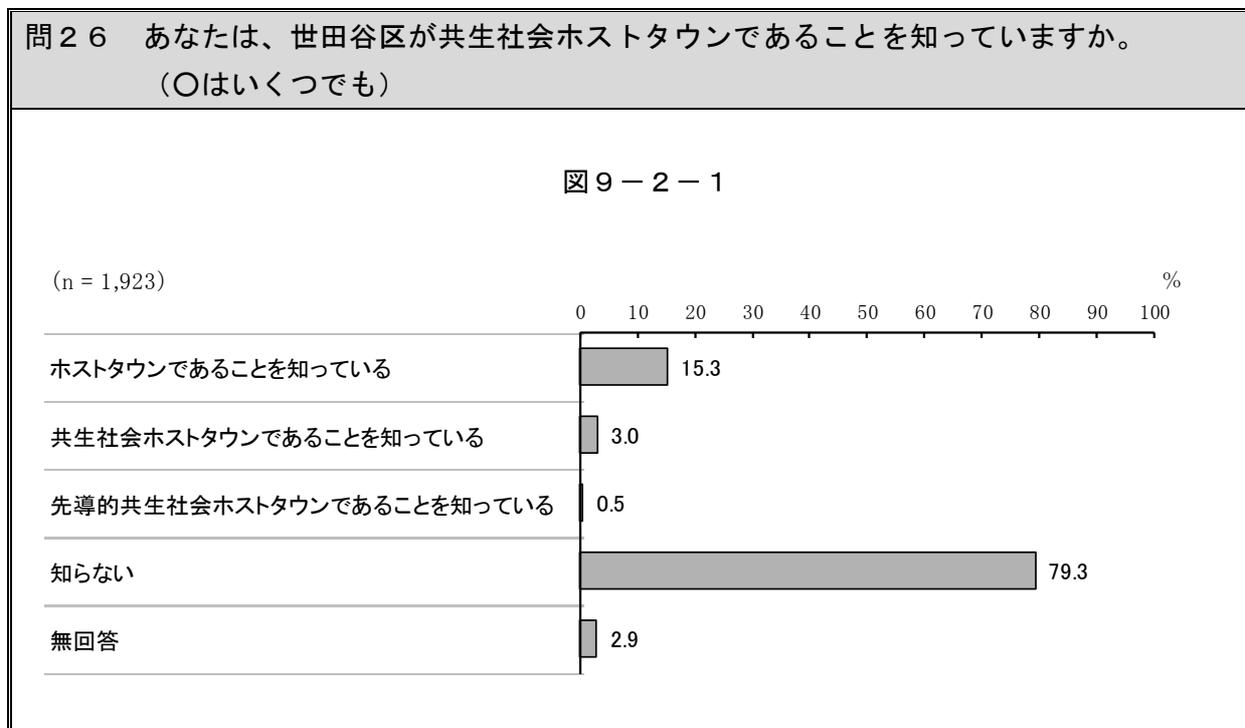
図9-1-3 障害者差別解消法の認知度（性・年齢別）



性・年齢別にみると、《知っている》は男性の60歳代が3割半ば、男性の10・20歳代、40歳代が3割を超えている。「内容まで知っている」は男性の40歳代を除き、すべての年代で1割に満たない。（図9-1-3）

(2) 共生社会ホストタウンの認知度

◎ 「知らない」方はほぼ8割



世田谷区が共生社会ホストタウンであることの認知度を聞いたところ、「知らない」(79.3%)がほぼ8割で最も高く、「ホストタウンであることを知っている」(15.3%)、「共生社会ホストタウンであることを知っている」(3.0%)、「先導的共生社会ホストタウンであることを知っている」(0.5%)と続いている。(図9-2-1)

表9-2-1 世田谷区が共生社会ホストタウンであることの認知度（性・年齢別）（%）

区分	n	知らない	知っている ホストタウンであることを	共生社会ホストタウンであることを知っている	先導的共生社会ホストタウンであることを知っている	無回答	
全体	1,923	79.3	15.3	3.0	0.5	2.9	
性・年齢別	男性全体	720	81.0	14.3	3.2	0.4	2.5
	10・20 歳代	63	81.0	14.3	4.8	-	-
	30 歳代	81	88.9	8.6	2.5	-	-
	40 歳代	123	76.4	21.1	0.8	-	1.6
	50 歳代	155	82.6	14.2	2.6	-	1.3
	60 歳代	123	80.5	16.3	5.7	1.6	-
	70 歳代	110	79.1	11.8	2.7	0.9	8.2
	80 歳以上	65	80.0	9.2	4.6	-	7.7
	女性全体	1,165	78.3	16.4	3.0	0.3	2.8
	10・20 歳代	101	85.1	13.9	1.0	-	-
	30 歳代	145	85.5	11.0	3.4	-	0.7
	40 歳代	211	75.4	20.4	2.4	0.5	2.8
	50 歳代	224	76.8	20.1	2.7	0.9	0.4
	60 歳代	178	78.7	15.7	4.5	-	2.2
	70 歳代	199	76.9	16.1	3.0	0.5	4.0
	80 歳以上	106	72.6	12.3	3.8	-	12.3

性・年齢別にみると、「知らない」は男性の30歳代が9割近くで最も高く、「ホストタウンであることを知っている」は男性の40歳代、女性の40歳代、50歳代で、やや高くなっている。

（表9-2-1）